

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム
「Local Action Plan Supporting System 通称：LAPSS（ラップス）」

新規利用団体募集説明会

2022年 10月
LAPSS事務局

本説明会の目的

- 環境省では、地方公共団体における実行計画の策定・管理等（温室効果ガス排出量の算定・管理や脱炭素に資する措置の推進）における支援を目的とした「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「LAPSS（ラップス）」を開発しています。
- LAPSS新規利用団体募集説明会では、今後のLAPSS新規利用をご検討いただいている団体の皆様を対象に、LAPSSのシステム・機能紹介やシステム導入までの流れをご紹介します。
- 本説明会の最後には質疑・応答の時間も設けておりますので、今後のLAPSS利用開始に向けたご質問等をお寄せいただけますと幸いです。
- なお本説明会は、環境省地域政策課から調査を受託している野村総合研究所が実施いたします。

1. LAPSSの機能概要及び導入により期待されるメリットの紹介
2. LAPSS主要機能操作デモ
3. LAPSS利用事例紹介
4. LAPSS導入までの流れ
5. 質疑・応答

LAPSSの機能概要及び 導入により期待されるメリットの紹介

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム

「Local Action Plan Supporting System 通称：LAPSS（ラップス）」

「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）」は、地方公共団体実行計画の策定及び温室効果ガス総排出量の算定・管理を円滑に推進するための支援システムです。

🎯 LAPSSの目的

- 実行計画の策定・運用に係る**事務負担軽減、排出量算定精度の向上**
- 実行計画のPDCAサイクル高度化に向けた**各団体のニーズに合った情報提供**

💡 LAPSS活用のメリット

👤 御担当者様のよくあるお悩み

実行計画の策定【PLAN】

- 職員不足により、計画策定業務に時間を割くことができていない
- 温室効果ガス削減に向けた有効な措置がわからない

実行計画の推進【Do】

- 各部局、施設担当者からのデータ収集及びデータの修正に手間がかかる
- 温室効果ガス排出量の計算方法がわからない、排出係数の更新対応に手間がかかる

実行計画の点検・見直し【Check/Action】

- 措置の実施状況の管理ができていない
- 自団体の排出状況を他団体と比較したい

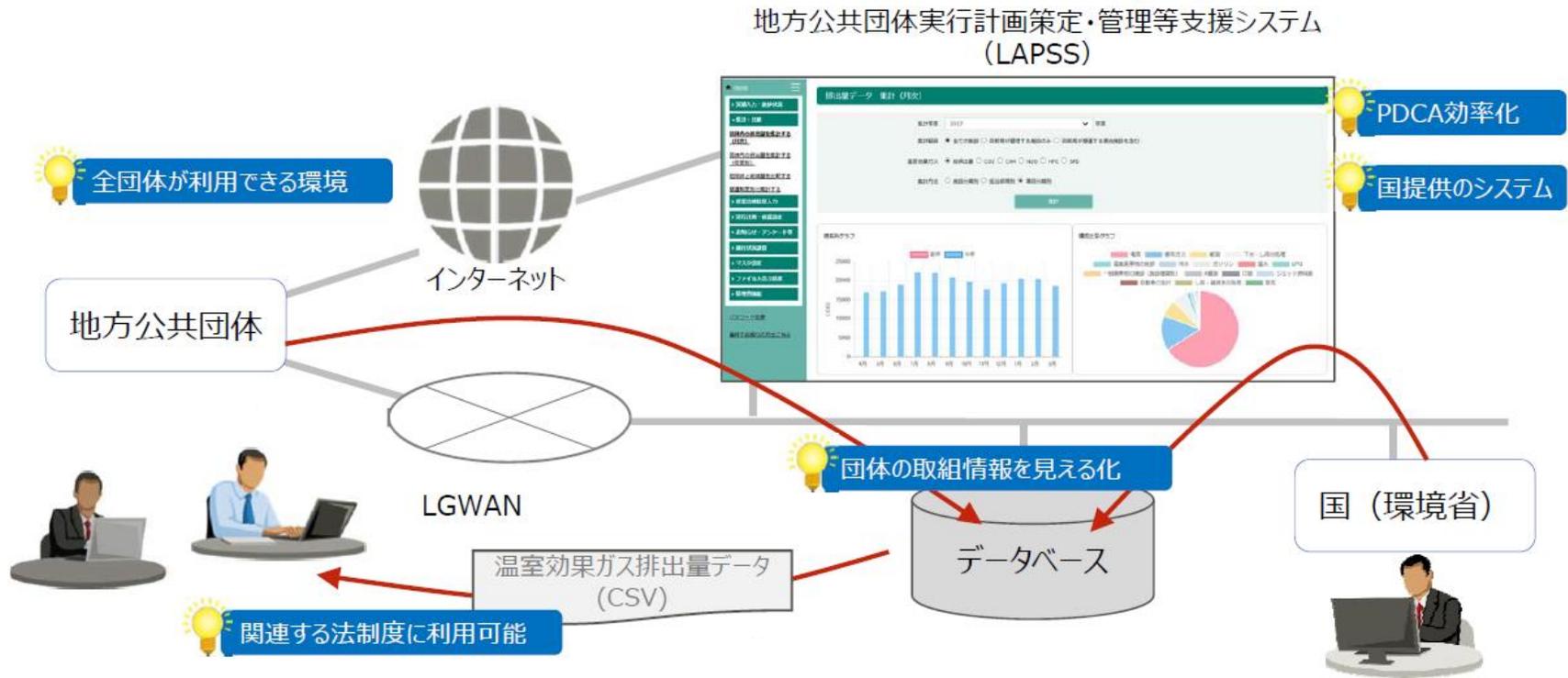
💡 LAPSS活用のメリット

- 実行計画登録フォーマットの提供
- 他団体による実施措置に係る情報を閲覧可能
- LAPSS上での活動量データ登録、システム上での入力値エラーチェック機能の搭載
- 排出係数は自動更新、排出量の自動計算
- 部局、課室、施設単位で実施措置の設定、進捗管理が可能
- 他団体における排出状況を閲覧可能

💡 LAPSS活用のメリット（続）

LAPSSのメリット

- 地方公共団体実行計画に係るPDCAの効率化が図れる
- 省エネ法等の関連する法制度の温室効果ガス算出に係る作業負担が軽減される
- 他団体の取組情報を参考に自団体の取組状況を分析し実行計画の高度化が図れる
- 環境省提供のクラウドシステムのため費用の負担無しで利用可能
- サポートデスクが設置されているためシステム操作の習得に掛かる負担を軽減





LAPSS活用のメリット（続）

費用削減効果

- LAPSSは環境省提供のクラウドシステムのため**費用の負担無しで利用可能**

**民間事業者開発の
独自システムを利用する場合**

システム利用料金
¥ 約10万～50万円/年※1



LAPSSを利用する場合

システム利用料金
¥ 0円

業務時間削減効果

- Excelファイルを使用したデータ収集において各団体事務局の手間となっている「施設管理部局からのデータ収集」「データの修正」業務についてシステム上で効率的に実施可能
- 温対法等の関連法制度の温室効果ガス算出に係る作業負担が軽減

Excelを活用したデータ収集・集計作業

施設管理部局へのExcel配布・回収
およびエラーチェック等の集計業務に
1週間～1ヶ月程度
の時間を要している



LAPSSを利用する場合

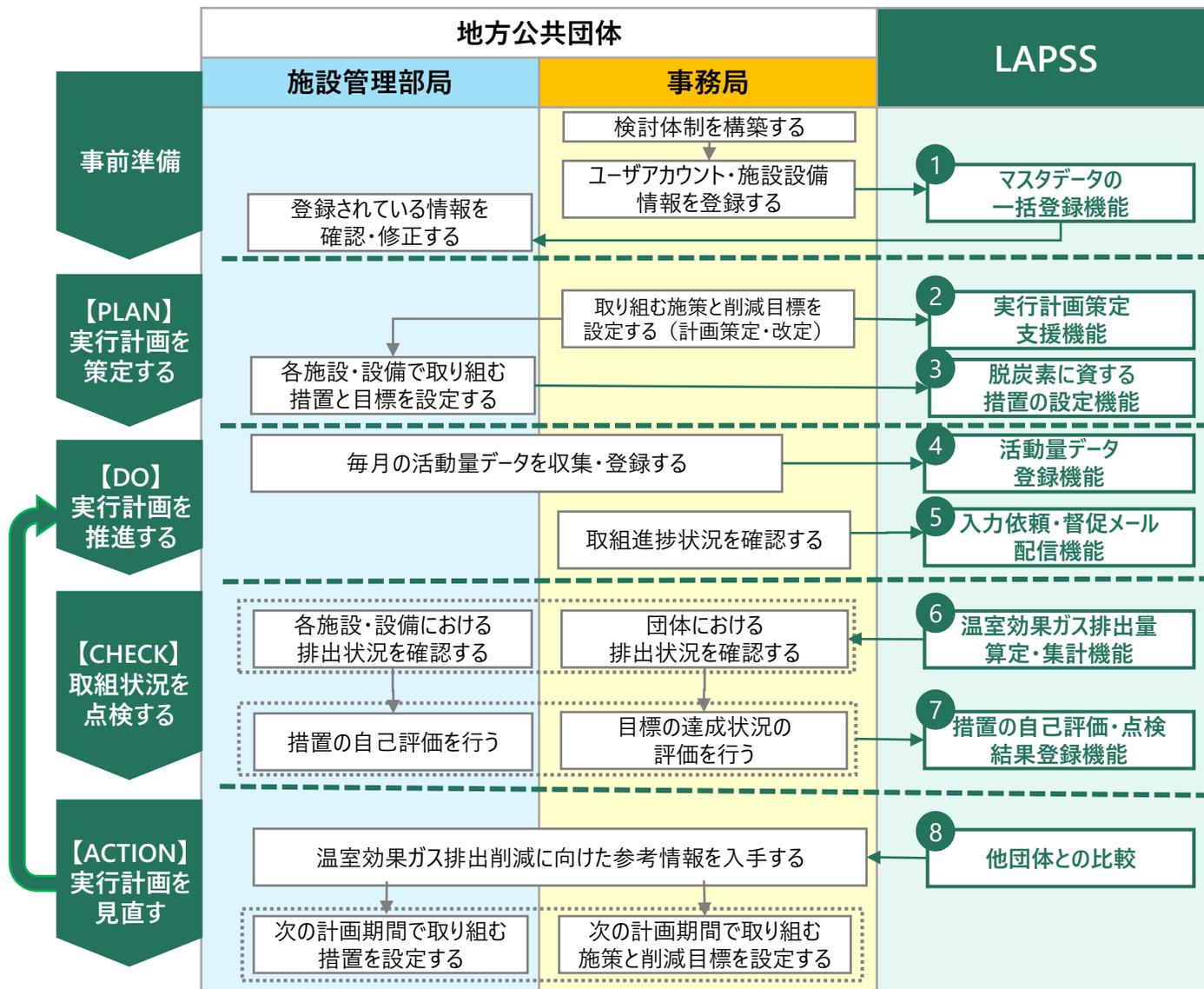
導入後約**半数**の団体が
業務削減効果を実感
効果を感じている団体の、約3割は
8割以上削減効果を得られている
※2

※1 LAPSS活用団体へのヒアリング結果より

※2 LAPSS利用団体満足度調査より

実行計画（事務事業編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能

実行計画の策定・運用に係る業務フローとLAPSSとの対応



- 事務局：各地方公共団体において実行計画を所管する部局
- 施設管理部局：主にLAPSSへのデータ入力を担当する部局



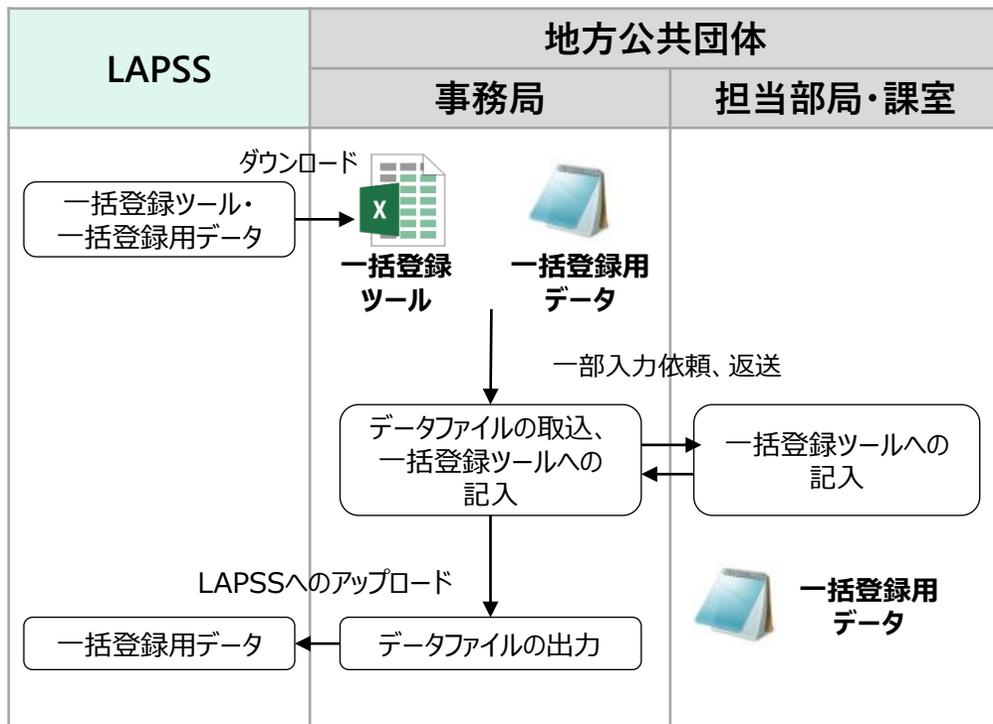
LAPSS主要機能の紹介

①マスタデータの一括登録機能

事務局

- 専用Excelツール(VBA)を使用することで、マスタデータ、実績値を一括で登録することが可能
 - ✓ マスタ登録の一括情報では、部局・課室・アカウント・施設情報を一括で登録可能
 - ✓ 実績値の一括登録では、登録済の施設ごとに、月次の実績値を一括で登録可能

マスタ一括登録、実績値一括登録機能利用におけるワークフロー



マスタ情報一括登録画面イメージ

施設・設備等名称 ※入力式	↓対象の場合「●」 を選択	↓対象の場合「●」 を選択	↓対象の場合「●」 を選択	↓対象の場合「●」 を選択
	当該施設が下記制度の対象となるか否か※選択式			
	地方公共団体実行計画 (事務事業編)	温室効果ガス排出量算 定・報告・公表制度 (基礎排出係数)	温室効果ガス排出量算 定・報告・公表制度 (調整後排出係数)	省工不法
test3	●			
市民ホール	●			
中央ポンプ場		●	●	
南地区排水場	●	●	●	
保健文化センター	●	●	●	
公用車 (健康増進課)	●	●	●	
白里海岸公衆便所	●	●	●	
公用車 (商工観光課)	●	●	●	
中部コミュニティセンター	●	●	●	
西地区ポンプ場	●	●	●	
公用車 (地域づくり課)	●	●	●	●

施設設備や所管の部局、延床面積や対象となる報告制度等も入力可能



LAPSS主要機能の紹介

②実行計画策定支援機能

事務局

- 実行計画において記載すべき入力項目の簡易フォーマット（雛型）を整理しており、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する基礎情報が登録可能
- また、登録された実行計画基礎情報は帳票として出力することも可能

実行計画基礎情報 登録

基本情報

必須な項目を入力してください。

実行計画名 **必須**

策定・改定年月 **必須** 年を選択 年 月を選択 月

計画期間 **必須** 年を選択 年 月を選択 月 ~ 年を選択 年 月を選択 月

最終改定年度 **任意** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度温室効果ガス排出量 **必須** t-CO2

目標年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

目標年度温室効果ガス排出量 **必須** t-CO2

関連情報

基本的事項

目的 **任意**

対象とする範囲 **任意**

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録することができます。

目的や温室効果ガスの排出状況等、実行計画の関連情報の登録も可能です。

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができます。



③脱炭素に資する措置の設定機能

事務局

施設管理部局

- 管理している施設・設備ごとに、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置の内容が登録可能
- 施設ごとの措置設定内容はCSVファイルとして出力

施設に対する措置 一覧

施設情報

施設名:

前年度の温室効果ガス排出量:

実行計画名:

test

登録施設ごとに、措置の内容（措置分類、削減目標、具体内容等）を設定可能

措置追加

部門 **必須** 部門を選択

措置分類 **必須** 措置分類を選択

項目を選択

措置 **必須** 先に「措置分類」を選択してください。

措置時期 **必須** 2021 年 09 月 ~ 年を選択 年 月を選択 月

削減目標 **任意** 例) 1000 kg-CO2 (0 t-CO2)

具体的な内容 **必須** 具体的な内容を入力

キャンセル

登録

新規登録

措置分類についてはこちらを参照

編集・削除



LAPSS主要機能の紹介

④活動量データ登録機能

事務局

施設管理部局

- 施設管理者が施設毎の活動量データをブラウザから入力することが可能であり、**活動量入力時は異常値（桁間違い等）を自動でチェック**し誤入力を防止
- 活動量データの一括登録機能を活用すれば、**施設の活動量データを過去分含めて一括で登録**することが可能

月別実績値 入力

年度 2021

対象施設名 test

入力期間 9 月 選択

9月

前月(8月)

活動項目ごとに実績値を入力（月次での入力も可能）

前月および前年同月の活動量と比べて50%の増減がある場合は**自動でメッセージ通知**。桁間違いなどによる誤入力を未然に防止。

参考値として**前年度値も表示**（当年度前月値も併せて表示）

当年度値は前月と比べて+50%または-50%を超えています。問題ない場合はコメントを入力してください。

コメント入力欄も設置

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額 (円)	コメント	前年度値	金額 (円)
燃料の使用 (液体燃料)	ガソリン (揮発油)	L	-	500			50,000	-
燃料の使用 (液体燃料)	: ガソリン 自動車での使用	L						
燃料の使用 (液体燃料)	: ガソリン 自動車以外での使用	L						
燃料の使用 (液体燃料)	: 灯油 家庭用機器での使用	L						
燃料の使用 (気体燃料)	: 液化石油ガス (LPG) 家庭用機器での使用量	m3	-					
燃料の使用 (気体燃料)	: 液化石油ガス (LPG) ディーゼル機関での使用量	kg	-					
燃料の使用 (気体燃料)	: 液化石油ガス (LPG) ガス機関・ガソリン機関での使用量	kg	-					
燃料の使用 (気体燃料)	液化天然ガス (LNG)	kg	-					



LAPSS主要機能の紹介

⑤入力依頼、督促メール配信機能

事務局

- 施設毎の活動量データ、点検結果を期限までに入力していない施設管理部局に対しては、**入力依頼メール**や**督促メール**を自動配信することが可能

実施依頼メール 設定

通知 **必須** ON OFF

入力対象月 **必須** 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

入力期間 **必須** 翌月 日 ~ 日

送信頻度 **必須** 期限日以降 日間隔

件名 (依頼) **必須**

本文 (依頼) **必須**

【活動量の入力依頼メール】
施設毎の活動量データが期限までに入力されていない施設管理部局に対して、**入力督促メール**が自動で配信されるため、**管理業務の工数を大幅に削減可能**。

件名 (督促) **必須**

本文 (督促) **必須**

点検依頼メール 設定

通知 **必須** ON OFF

点検対象年度 **必須**

点検期間 **必須** ~

頻度 **必須** 期限日以降 日間隔

件名 (依頼) **必須**

本文 (依頼) **必須**

【点検依頼メール】
送信頻度や点検期限等の設定に加え、依頼文と督促文の定型文を作成できる。

件名 (督促) **必須**



LAPSS主要機能の紹介

⑥ 温室効果ガス排出量算定・集計機能

事務局

施設管理部局

- 条件（集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法）を組み合わせた集計出力が可能であり、**排出量の推移・内訳を見える化**
- 排出係数はLAPSSが標準装備しており、**更新作業は不要**

排出量データ 集計（年度別）

実行計画 市実行計画（事務事業編）第6期計画

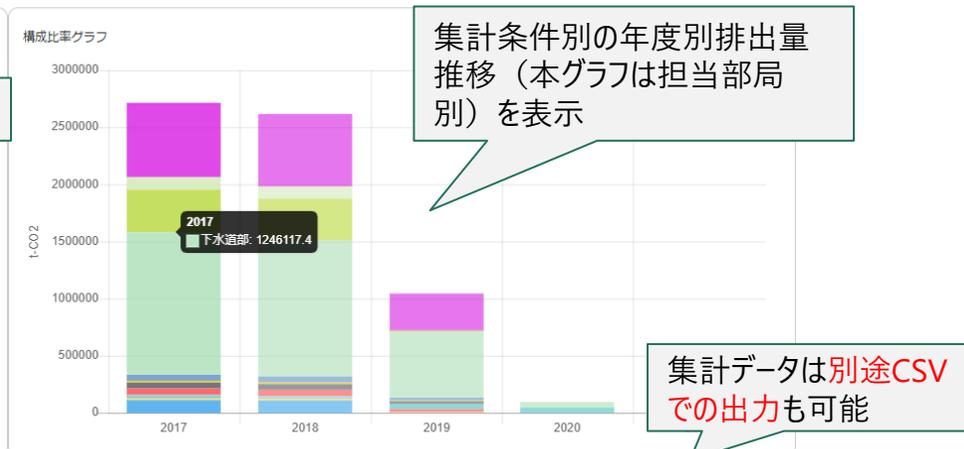
温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC SF6

集計方法 施設分類別 担当部局別 項目分類別

分類 25 項目選択中

集計

集計条件（対象ガス、集計方法、出力対象）を設定



このデータをCSVでダウンロード



LAPSS主要機能の紹介

⑦措置の自己評価・点検結果登録機能

事務局

施設管理部局

- 実行計画策定時に設定した各施設設備の措置について、**年度ごとに取組状況の点検と自己評価**を行うことが可能

措置点検結果の入力

各措置の点検（確認と見直し）を行い、点検完了コメントを入力して登録してください。

実行計画 ○○市実行計画（事務事業編）第6期計画
 点検年度 2020
 施設名 test

No.	措置分類	措置	自己評価	必須	
1	温室効果ガスの排出の抑制等に資する設備の選択 発電専用設備・受変電設備・コージェネレーション設備	太陽光発電設備の導入	4	<input type="checkbox"/>	編集

総合評価 **必須** 本施設にて●●●kWの太陽光発電設備を設置。2020年度は△△kwhの電力を自家発電・自家消費

点検完了日 **必須** 2021/03/17

点検実施者 **必須** ○○○○

点検完了

設定した措置毎の実施評価および施設全体での実績評価が可能
 （措置実施における課題や削減効果等を記入）

[一覧に戻る](#)

[登録](#)



LAPSS主要機能の紹介

⑧他団体比較機能

事務局

施設管理部門

- 自団体と本システムを利用している他団体の施設面積あたり排出量（＝原単位）を、施設分類ごとに比較
- また、他団体が実施している有効な措置など、実行計画改定に役立つ参考情報を参照可能

他団体の施設別実施措置の内容を参照することができ、自団体の取組みの振り返りや措置の立案に活用可能。

集計年度 年度

比較対象団体 都道府県

団体区分

さらに団体を絞り込む

温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC SF6

比較対象とする他団体を、都道府県及び団体区分で指定可能。特定の団体を指定したり、**温室効果ガス別に集計**することも可能

単位：延床面積当たりのCO2排出量

大分類	中分類	自団体		他団体						
		原単位 (t-CO2/m2)	原単位の対前年度比 (%)	原単位 (t-CO2/m2)			原単位の対前年度比 (%)			
				平均	ばらつき	標準偏差	平均	ばらつき	標準偏差	
市民文化系施設	集会施設	35.11061	204.369	6.0022	1,339.133	36.594	95.16223	29,616.205	172.094	<input type="button" value="詳細情報"/>
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	0.00297	-	0.00776	0	0.01	30.29014	138.445	11.766	<input type="button" value="詳細情報"/>

措置の具体的内容参照

団体情報
団体名 システム管理用

施設情報
施設名 中部コミュニティセンター

措置情報
部門 業務部門
措置分類 温室効果ガスの排出の抑制等に資する設備の選択
措置分類 空調設備・換気設備
措置 エネルギー消費効率の高いモーターへの更新

具体的な内容 最新設備を導入する

開始期間 2019/10/01
終了期間 2020/03/01
導入費用 円 内、補助金 円
運用費用 円



LAPSS主要機能の紹介

※関連制度報告（温対法、省エネ法）に向けた排出量算定機能

事務局

- LAPSSでは温対法、省エネ法報告に必要な排出係数も管理しているため、入力いただいた活動項目別の活動量データをもとに、省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能
 ※令和4年度以降、省エネ法・温対法・フロン法の同時報告及び温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とする新システム「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（通称：EEGS（イェグス）」との連携も予定

関連制度別排出量算定

対象制度 **必須** 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（調整後排出係数）

対象年度 **必須** 2019 年度

温室効果ガス **必須** 総排出量 CO2

表示

1/8ページ (全76件) [このデータをCSVでダウンロード](#)

施設分類（大分類）	施設名	温室効果ガス排出量 (t-CO2)												年度合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
市民文化系施設	中央公民館	0	-	-											0
市民文化系施設	中部コミュニティセンター	0	0	0											0
市民文化系施設	東公民館	0	-	0											0
市民文化系施設	農村ふれあいセンター	772.59	641.1	575.12	889										4,250.61
市民文化系施設	農村環境改善センター	576.03	583.77	592.87	610.61	638.37	543.73	-	-	-	-	-	-	-	3,545.36
行政系施設	分庁舎（農）	1,519.25	1,344.07	1,258.53	1,707.62	1,464.19	1,405.04	-	-	-	-	-	-	-	8,698.69
行政系施設	本庁舎（衛生車庫舎）	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0
行政系施設	第二分庁舎	182.46	162.44	177.45	412.69	382.66	296.66	-	-	-	-	-	-	-	1,614.34
その他施設	十枝の森	1.82	1.82	3.19	2.28	0	0	-	-	-	-	-	-	-	9.1
その他施設	埋蔵文化財収蔵庫	9.1	12.29	11.38	12.74	14.11	13.2	-	-	-	-	-	-	-	72.8

「事務事業編」のほか、「省エネ法」、「温対法(算定・報告・公表制度)」を指定可能

関連制度で必要となる温室効果ガス排出量を施設別に集計。温対法、省エネ法報告に必要な排出量算定の工数が大幅に削減可能。

LAPSS主要機能の紹介（新規追加機能）

- 毎年利用団体の御担当者様を対象に実施しているLAPSS利用満足度調査の結果を踏まえ、毎年度機能のアップデートを行っております。
- これまでに説明した主要機能に加え、**2022年3月より**下記機能が搭載されました。

事務局

部局/課室/施設別 排出量 集計比較機能

- ✓ 排出量算定・集計機能において、**団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較**することが可能になります。
 - ※削減率の大きい順に部局/課室/施設が表示されるため、事務局御担当者様は順調に削減が進んでいる部局/課室/施設（または、そうでない）を把握することができます。
 - ※施設別の表示の際には、各施設での取組措置も確認することができます。

事務局

施設管理部局

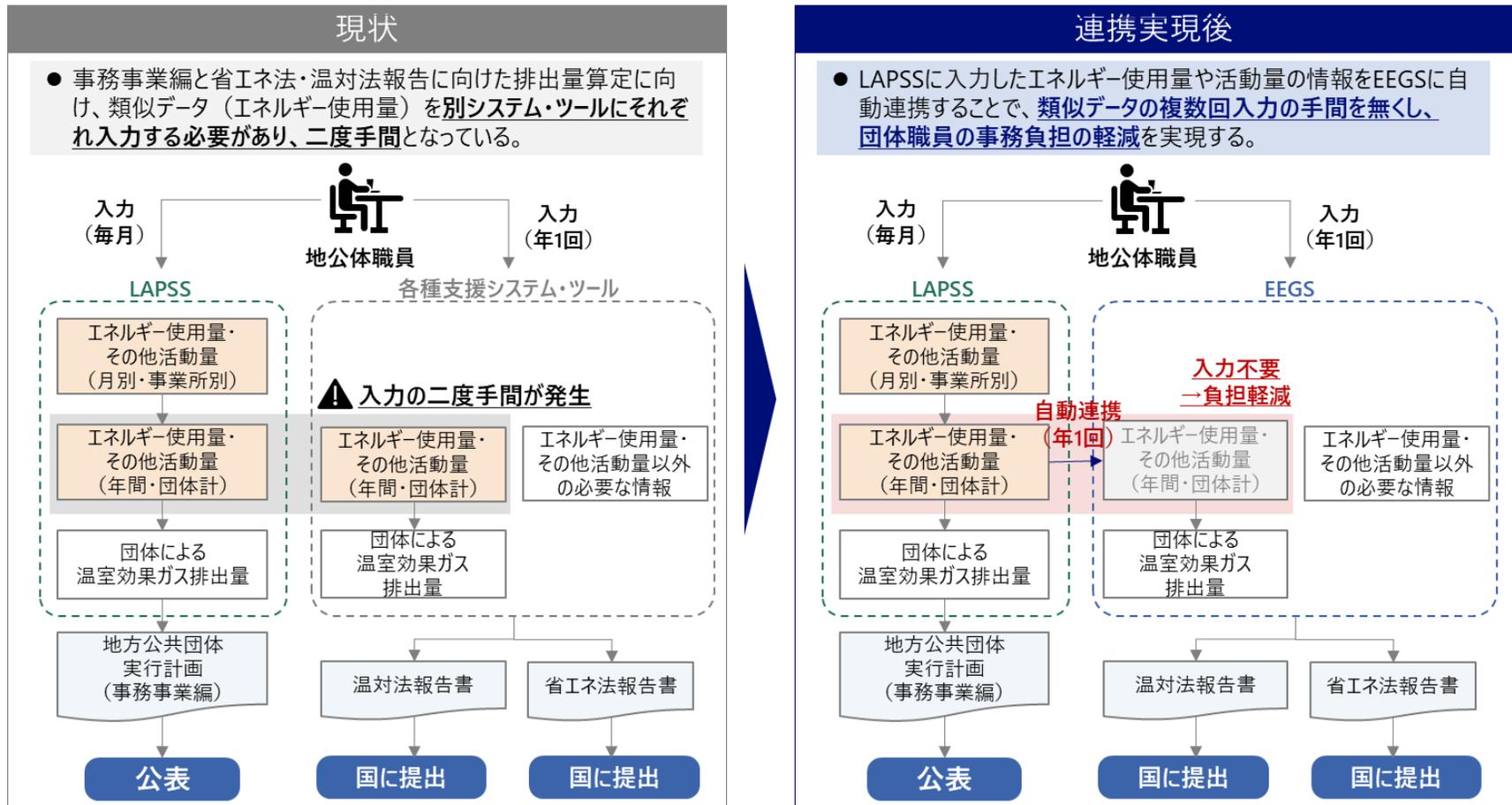
排出量削減目標 管理及び 進捗管理機能

- ✓ 団体全体での排出量削減目標に加え、**団体内部局/課室/施設別の削減目標（削減排出量、前年度比削減率）を入力・管理**することが可能となります。
- ✓ 年度ごとに、部局/課室/施設単位で設定した目標に対する進捗管理（5段階評価及びコメント）を行うことができます。

⚙️ LAPSS主要機能の紹介（今後の新規追加予定機能）

- LAPSSは、省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とする新システム「**省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（EEGS）**」（令和4年5月より稼働）との**データ連携機能**を搭載予定です。
- 地方公共団体が省エネ法・温対法の報告を行う場合は、LAPSSに入力したエネルギー使用量や活動量の情報を**EEGSに自動連携**することで、**類似データの重複入力を避け、団体職員の報告に係る事務負担の軽減**を実現します。

LAPSSとEEGSの連携イメージ（仮）



LAPSS主要機能の紹介（今後の新規追加予定機能）

- 現在LAPSSは、地方公共団体実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的としていますが、**令和5年度から区域施策編にも対応**予定です。

区域施策編について搭載予定の機能（仮）

実行計画策定 支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用

地域脱炭素化促進事 業に関する事項

- ✓ 促進事業の目標、促進区域の種類・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理

脱炭素に資する対策・ 施策の設定支援機能

- ✓ 脱炭素に資する対策・施策の設定のための参考情報を提供
- ✓ 設定した対策・施策の管理も可能

排出量データ 管理・集計機能

- ✓ 年度単位、部門・分野ごとでの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理
- ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化

LAPSS利用事例紹介

① 新潟県上越市/ 2021年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

活動量を入力する独自のExcelシートを、施設管理部局に手動で入力依頼・回収（必要に応じ督促）し、集計するのに手間がかかっていた。特に、集計作業に約10人日を要していた。



導入による効果

自動集計機能により、集計作業に係る工数が6人日に削減。
エラーチェック機能によりその他の業務量も大幅に減少。

■ LAPSSの活用方法

- 全ての施設管理部局にてLAPSSの利用を開始し、管理施設ごとに毎月の活動量をLAPSSに入力。入力方法に関する各部局からの問い合わせに対しては、「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム ユーザーズガイド」を一部参照し対応。
- 「温室効果ガス排出量算定・集計機能」を活用し、担当部局別・施設別の排出量を確認。また必要に応じて修正依頼を実施。
- LAPSSの進捗状況・実績値確認レポートをCSV出力し、進捗の確認に利用している。

■ 今後のLAPSSへの期待

- 集計機能や進捗状況・実績値確認レポートにおいて、部局・課室別の排出量や電気・ガス利用料金等の削減状況（前月比、前年比）を可視化し、振り返りに活かしていきたい。
- 今年度は利用開始初年度だったため、入力エラーや操作の悩みが多かった。次年度以降さらなる業務削減効果を期待している。

② 伊達地方消防組合/ 2020年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

「かんたん算定シート」を利用していたが、**排出係数の更新を手動で行う必要があり、手間であった。**
脱炭素の取組検討に向け、**他団体における実施措置に係る参考情報**を得ることができない。



導入による効果

LAPSS上では報告制度に応じて自動で係数が割り振られるため、**報告に係る業務時間・手間を削減。**
他団体の排出状況や有益な措置を参照することで、目標設定や措置検討の参考とすることが可能。

■ LAPSSの活用方法

- 施設主導で、**施設別の措置をLAPSS上で管理。**あわせて削減目標も設定。
- 年1回組合で実施される委員会にて、LAPSSに入力された情報と温室効果ガスの削減結果をもとに**施設管理部局とともに措置と効果の振り返り**を行い、**次年度の目標設定**を実施。
- LAPSSから出力される**ガス別排出量データ**等を外部公表資料に活用。

■ 今後のLAPSSへの期待

- より多くの団体にLAPSSを活用いただくことで、参考となる情報源が充実していこう。その上で他団体における、**排出量削減に繋がる措置の導入事例**を検索できるようにしていただきたい。
- 様々な集計条件で**グラフ形式等でのデータ出力**ができるようになると、成果の確認やイメージが容易になる



LAPSS活用団体の声

■ LAPSS利用による効果

【コスト削減】

- ・ 民間事業者の開発システムを使用していたが、有償となったためLAPSSの活用を開始。**経費削減**にもつながった。

【業務時間削減】

- ・ 従来は100以上の部局を対象にExcelファイルを配布した後、回収後事務局で手作業で集計作業を行っていた。督促と入力内容チェックを合わせて**延べ20日程度**を要していたが、LAPSSの活用により**当該業務の負担が大幅に軽減**された。
- ・ LAPSSの入力値を活用して温対法、省エネ法報告向け排出量の算定が可能であるため、**関連制度報告業務が効率化**された。

■ LAPSSの活用状況

実行計画の 策定 【PLAN】

- 実行計画の策定には至っていないが、LAPSSに計画策定フォーマット（雛型）が用意されているので活用した上で計画策定を進めていきたい
- LAPSSでは施設単位での措置の登録が可能のため、事務局として施設全体の措置実施内容、点検結果を管理している

実行計画の 推進 【Do】

- 全ての施設管理部局にてLAPSSの利用を開始し、管理施設ごとに毎月の活動量をLAPSSに入力。また事務局では担当部局別の排出状況を随時確認している
- 温対法や省エネ法報告向け排出量の算定も可能なので、LAPSSでの集計値を関連制度報告にも活用

実行計画の 点検・見直し 【Check/Action】

- 他団体比較機能を活用して自団体の排出状況を把握し、次年度以降の削減目標等を検討している

LAPSS導入までの流れ

～LAPSS利用開始に向けた諸手続きについて～

2022年度利用団体の募集に関して

- **募集期間**：通年募集
- **募集団体**：地方公共団体（都道府県、市区町村及び一部事務組合等※）に限定
※地球温暖化対策の推進に関する法律で地方公共団体実行計画を策定するものとされている団体
- **利用開始時期**：お申込みから2週間以内を目処に、メールにて使用開始のご案内を送付致します。
到着したメールの内容に沿ってLAPSSをご利用開始ください。
- **申し込み方法**：下記申し込み先にメールにて申し込みください。

<申し込み先>

- ・**連絡先**：LAPSS新規利用申請（環境省大臣官房地域政策課 委託事業）
※受託業者：（株）野村総合研究所（利用開始のご案内は受託業者より差し上げます。）
- ・**Email**：lapss-touroku-moe-ext@nri.co.jp

<メール記載内容>

- ・**団体名**（都道府県、自治体名）
- ・**申請者情報**（部局名、課室名、氏名、役職、電話番号（外線・内線）、メールアドレス）
- ・**利用したい環境**（A.本番環境 B.トライアル環境 のうち利用したい環境を記載。どちらも利用することも可能）

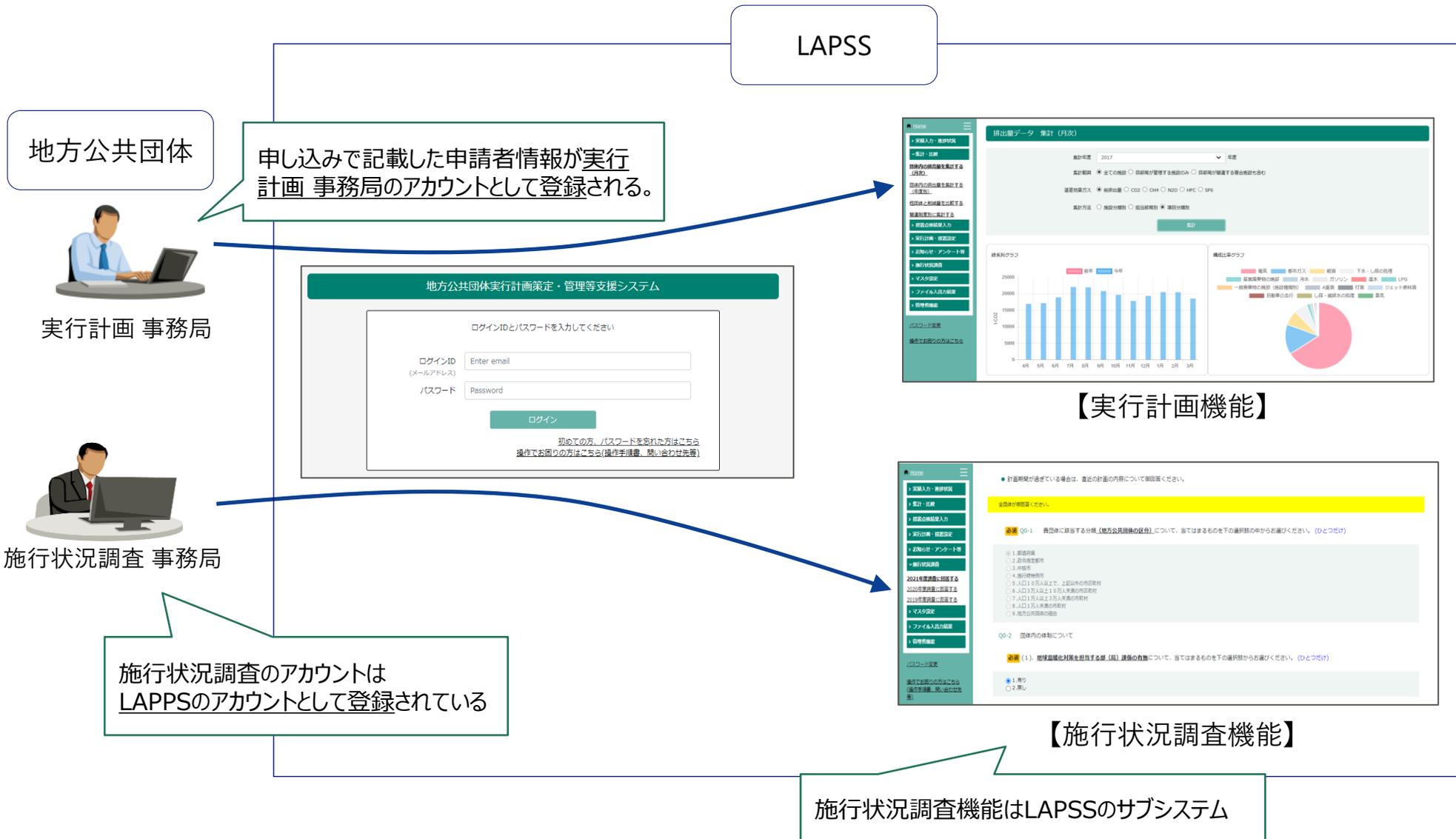
LAPSSをご利用頂くための環境

- **ネットワーク環境** : LGWAN または インターネット
- **ブラウザ** : Google Chrome
(最新バージョンを推奨) : Microsoft Edge
: Firefox
- **OS(推奨)** : Windows 10
- **メールアドレス** : メールを受信が可能なメールアドレス
本システムのログインIDとメール通知機能で使用

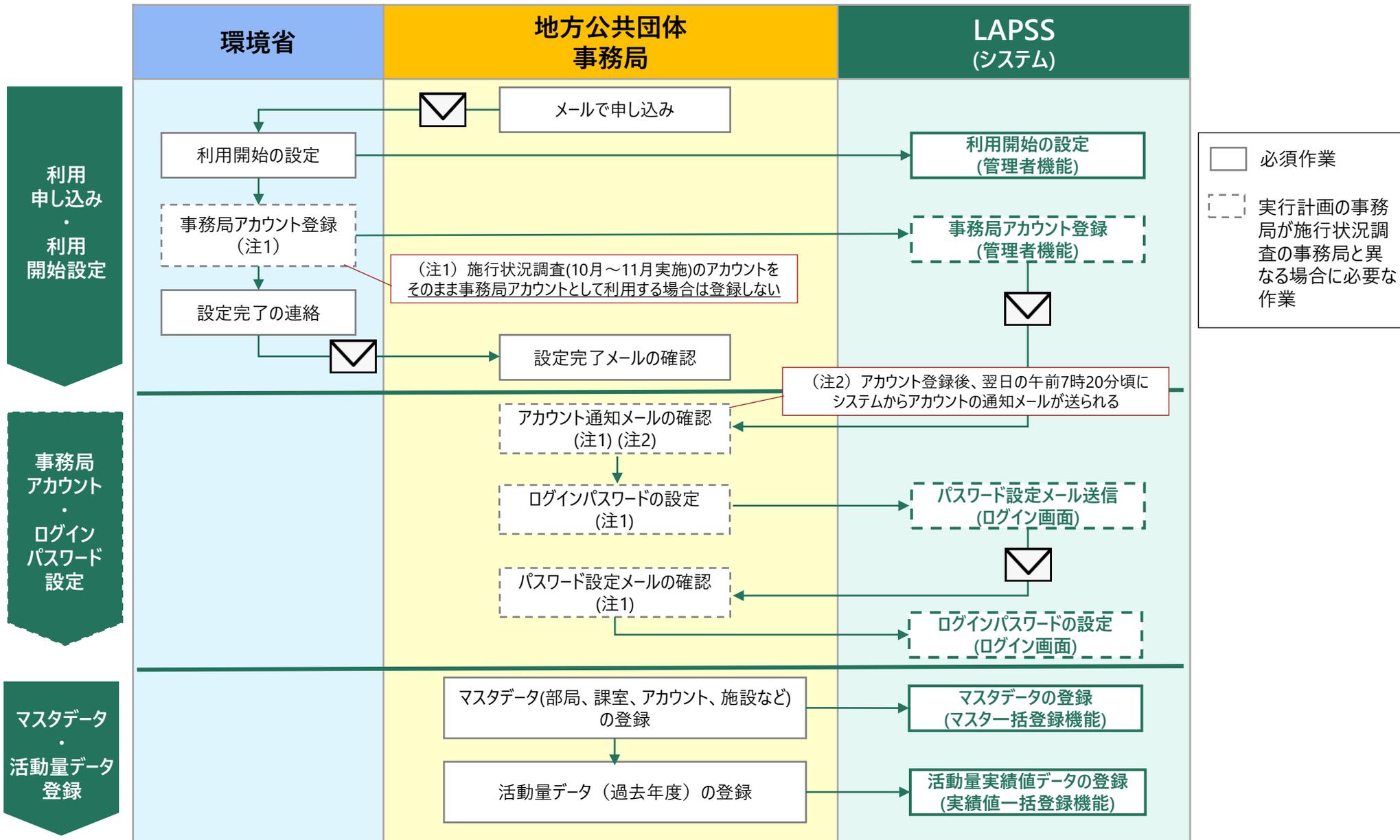
よくあるご質問

- Officeなどのソフトウェアは必要でしょうか？
必須ではありません。
帳票出力はExcel形式のため、帳票機能を利用される場合は必要です。
- 個人メールアドレスを所持していませんが利用できますか？
部局・課室のメールアドレスでもご利用可能です。
ただし、ログインIDはメールアドレスのため、複数人で共有して頂く必要があります。

参考：LAPSSと施行状況調査機能の関係について



実行計画の利用申し込みから利用開始までの流れ



アカウント発行通知メールについて

[実行計画システム]ご利用アカウントのお知らせ



LAPSS_Info@env.go.jp
宛先 kankyuu@city.dazaifu.lg.jp
C C lapss-2021@nri.co.jp



【注意事項】

アカウントを登録したユーザにCCでメール送信されます(システム仕様)。
利用開始時は環境省が申請団体の既存ユーザ(施行状況調査アカウント)で代行ログインしてアカウント登録します。
このため、CCに施行状況調査の事務局担当者が設定されメール送信されるため事前に団体内で情報共有をお願いします。

本メールは地方公共団体実行計画策定・管理等支援システムに
環境省 大臣官房 環境計画課によって新しく登録されたアカウント宛に送付しています。
本メールは送信専用メールアドレスより発信しておりますので、
ご返信いただいても受信できません。
このメールにお心当たりの無い場合やお問い合わせは、
下記連絡先までご連絡ください。
団体名 : 環境省 大臣官房環境計画課
連絡先 : lapss-2021@nri.co.jp

地方公共団体実行計画システムに、下記アカウントが発行されましたのでお知らせします。

=====
アカウント名 : システム管理者(環境省権限) 様
ログインID : lapss-999999-1@jp.fujitsu.com
=====

申し込みで記載した氏名とメールアドレスが「アカウント名」、「ログインID」として登録されます。

【実行計画システム】は以下のURLよりアクセスできます。

<LGWAN 経由でアクセスしている方はこちらから>

https://www.lapss.env.hq.admix.go.jp/lapss_test/#/login

<インターネット経由でアクセスしている方はこちらから>

https://www.lapss.env.go.jp/lapss_test/#/login

アクセス先のURL、パスワードの設定方法、ヘルプページへのリンク等をご案内しております。

■パスワードについて■

最初にログイン画面の「初めての方、パスワードを忘れた方はこちら」より
初期パスワードの設定を行ってください。

ヘルプページのご紹介

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム ヘルプ

• ユーザーズガイド [事務局編] [施設管理部局編]

利用者向け簡易版操作ガイドです。

• システム操作手順書 ver1.7

システムの操作手順書です。管理者を含む全ての機能に関する操作手順を知ることができます。

一括登録機能は下記資料からも操作手順を確認することができます。

[マスター一括登録機能](#)

[実績値一括登録機能](#)

システム操作の手順を動画でも確認することができます。

[動画照会\(PDCA編\)](#)

[動画照会\(事前準備編\)](#)

• お問い合わせ先

①本システムの操作に関するお問い合わせ窓口

お問い合わせの前によくある質問をまとめましたのでご確認ください。

[よくあるご質問\(FAQ\)](#)

【お問い合わせ窓口（ミツイワサポートサービスセンター）】

電話番号：0422-67-9338

メールアドレス：lapss-helpdesk@mitsuiwa.co.jp

【受付時間】

電話受付：月曜日～金曜日の9:00～17:30（祝祭日、年末年始を除きます。）

メール受付：電話受付時間外もメールの受付は致しますが、回答は翌営業日となります。

- ヘルプページはログイン画面から参照可能
「操作でお困りの方はこちら」のリンクをクリック
- はじめてLAPSSを利用される方は「ユーザーズガイド」がオススメ
- システム操作および実行計画に関するお問い合わせ窓口も設置

ご参考：LAPSSご利用団体からの声

- 画面が非常にわかりやすく**習得が容易**
- サクサク動作**して快適
- 活動量の**入力ミスが激減**
- 活動量の入力を年1回から毎月に変更して
計画に対する**進捗をタイムリーに把握可能**
- 措置をリストから選択でき担当者の**入力負荷が軽減**
- 掲示板機能を活用して**情報共有でき便利**

